上の 止とさせていただいた次第です。ことから、役員一同断腸の思いで なく実施している当会の きました。 防 上止むを得ず中 皆 に悼式は昭和 コロナウィルスの感染が急速に ! 止対策を完全には実施できな 高齢者の多い参列関係者への感 事でありますが、 型コ にお ルになることが予想され、 コロナウィルス感染防止対お知らせいたしましたよう原爆死没者追悼式は、会員 4 和32 月の緊急事態宣言下以 段と大きくなってお れましては、ご了承だいた次第です。会一同断腸の思いで中 止とさせてい から 7 · 月 の 年 63 間 年 状況 の間 ただだ 最 休

止 可 員の皆様におかれましては、 追 が策を講じて 辺の清 な限りのコロナウィルス感情式は中止といたしまし りたいと存じます。 て、 前 による供養及び 日の5日の慰霊 ルス感染防

# 8月6日を終えて

発 行 所 般財団法人 広島県動員学徒等犠牲者の会 事 務 局

印刷所 Taisei

 $\cdot$  1  $\sim$  2

 $\cdot$  3  $\sim$  $\cdot$  4  $\sim$  $\cdot$  6  $\sim$ ..... 8

デジタルブック

広島市南区比治山本町12-2 広島県社会福祉会館内 〒732-0816 電話(082)252-0316

"慟哭の証言" http://www.douingakuto.com/

#### 理事長 本 地 正

治

0) 原

供え・

死没者名簿閲覧の受付は

行 いいお

 $\exists$ 

0)

慰

霊塔

へ の

お

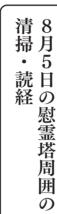
供え、

祷、

ましたので、 たします。

その模様をお知

らせ



お集まり、中とはい た。掃と西向寺での読経供養を行 例 年 いえ暑 0) いただき、 如く、 1) 8 17月 名 5 は、 いまし









5日の清掃・読経にご参集の有志会員

日
8月6日を終えて・・・・・・
兄が遺した靴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
アンケート回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
動員学徒をしのぶ座談会
長野県上田市内の高校での伝承講話・・・
リニューアル後のレストハウス…
ご寄付のお礼・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

あとがき・・・・・

#### 名慰 8 |簿及|

に想 態 のい営時 だただき、お 日して、15名 日もでの間、 15名 受付を行 コ 以口 月6日には、午前7時半から2 て、15名の有志会員にお集まり て、15名の有志会員にお集まり での間、慰霊塔前にテントを設 だき、お供え、死没者名簿閲覧 だき、お供え、死没者名簿閲覧 だき、お供え、死没者名簿閲覧 れてくださいました。 死没者名簿閲覧件数26件



慰霊塔のお供え等



慰霊の方で慰霊塔前が混雑するときも



受付はマスク・フェイスシールド着用で応対



死没者名簿閲覧希望の遺族等への応対



6日ご参集の有志会員



受付及び死没者名簿閲覧のためのテント

後となりました。

の状況等お聞きしました。(事務局) 和記念資料館へ寄贈されました。当時 お兄さんの遺品の靴を、本年、広島平 動員学徒として出動し犠牲となった 本会の会員である横田靖子さんは、

#### かが た 靴

田 靖 子

を持って家を出ていきました。 す。」とあいさつをして、風呂敷包み てゲートルを巻いた後、「行ってきま 私が見た兄の元気な姿はこれが最 横田 自宅の納屋の敷居に腰かけ 敏行は、 昭和20年8月6

出動し、 (2年生)生徒として建物疎開作業に 敏行は、 市内八丁堀付近で被爆しま この日、崇徳中学校

傷ついた体にもかかわらず被爆直後 帰りつきたいという思いから激しく 兄は、 中を歩き続けました。 街の中を自宅を目指して道路や川 何とか広島市北部の自宅へ

がら、列車に乗って、 の方に出会い、この方に助けられな ようやく自宅にたどりつくことがで そして途中で偶然にも近所の知人 午後3時頃、

君が帰ったよ。」という声で、表に出 同行していただいた知人の 「敏行

> がった凄惨を極めた見るに堪えない まで、火傷ではがれた皮膚が垂れ下 姿になっていました。 はれ上がり、両腕は持ち上がったま てみると、兄は真っ黒になって体は

負っていました。 いたところ以外はひどいやけどを 子、下着、ゲートルで覆われて

がっており痛がってなかなか脱がせ がそうとしますが足は火傷ではれ上 おばがゲートルを切り除き、 ることはできませんでした。 靴を脱がせてほしいと兄が言 、靴を脱

だったと麻子おばさんは言っておら そうです。それを、母と麻子おばさ しましたら、 況の中で、苦しみますので体を横に にあたりましたが、塗り薬もない状家族(母、おば)は、懸命に看病 れました。 んは毎日・毎夜とってやるのが大変 いないのに「うじ虫」が潜んでいた 1日か2日しかたって

に亡くなりました。 兄は痛みに苦しみながら8月9日

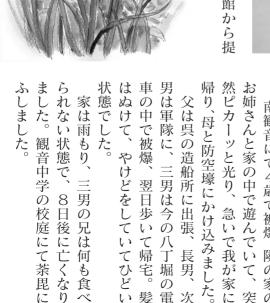
用に裏底が厚く補強されていました。 履いていたものであり建物疎開作業 私が引き継いで大事に保管してい ていましたが、母が亡くなった後は 母が兄の形見として大事に保管し 遺されている靴は、兄が、被爆時

私は高齢となった今、兄が遺した しく破損したこの靴が教えてくれ

にわたって多くの人に知ってもらい 学徒の苦しみ、平和の大切さを将来 記念資料館に寄贈しました。 たいとの思いから、今回、広島平和 る原爆のこわさ、倒れていった動



供していただきました。 (写真は広島平和記念資料館から提



ンケートをお願いしました。 回答をいただきましたので掲 今年度、 役員を退任された方にア

員

る活動に感謝申し上げます。 退任された方には、 長期間にわた

せていただきます。

## アンケート回

茨 木 和 子

1年が経過しました。 ○最近は、いかがお過ごしですか? 突然の病気になって、 9月末にて

くて、月三回病院通いの日々で しています。一人では外出もできな 二か月入院し、今は甥の所で静 元気な日々が懐かしいです。

"被爆"に関する思い出は? (原爆に関する思いは?)

然ピカーッと光り、急いで我が家に はぬけて、やけどをしていてひど 車の中で被爆、翌日歩いて帰宅。 男は軍隊に、三男は今の八丁堀の電 帰り、母と防空壕にかけ込みました。 お姉さんと家の中で遊んでいて、 父は呉の造船所に出張、長男、 南観音にて4歳で被爆、隣の家 次 髪 穾

○コロナ感染状況について、なにか

### ○何がきっかけで当会へ入会された その時の状況は忘れられません。

流していました。 母がこの会に入会し、 のですか? 皆さんと交

入会しました。 たころ、会の人から声をかけて頂き、 母が亡くなり、私が会社を退職

## ○入会後の活動で、印象的だった

楽しい思い出ばかりです。 月二回の掃除を通じて交流をし、

### れる事を願っています。 今迄通り、皆さんが元気で活動さった後の会(の活動)へのご希望は?

さまってほしいものです。 日報道でコロナの事ばかりで早くお 響で中止となり残念に思います。 学徒の会の原爆式典がコロナの影 ご意見があればお願いします。 毎

### ○その他なんでも結構ですので、 ご自由なご意見、ご感想をお願い します。

した。皆様には御迷惑をおかけして 私も突然の病気にて会を退会しま

まだ通院中で、 元気になる様に頑

会の発展をお祈りしています。



#### 動 員学徒を 座談会

ができました。 の象徴として会員の大きな心の支え として、また、平和を希求する祈り 15 日完成し、犠牲者の冥福を祈る場 動員学徒慰霊塔が、 昭 和 42 年7月

行されました。 また、長く学徒の功績をしのぶた 昭和43年3月に動員学徒誌が刊

後の活動の糧といたしたいと思 座談会の模様を掲載し、当時の会員 裸々な思いを語る「動員学徒をしの 平和を願う切なる思いを、 ぶ座談会」が開催されました。この (動員学徒及び遺族)の皆様の心から このことを機に、当時の会員の赤 当会の今

行)から原文のまま転載しました。 (「学徒動員誌」(昭和43年3月30日発

## 動員学徒をしのぶ座談会

種の事情から書面による紙上参加を 談会を開かせていただきましたが、諸 刊行して学徒の功績をしのび、慰霊の に慰霊塔を建立し、更に動員学徒誌を が発起して広島市原爆ドームの南側 会に関係の皆様にお集まりを願い、座 助とすることになりました。この機 今回、広島県動員学徒犠牲者の会

お願いした方々もあります。

りました。 き学徒のみ霊に捧げたいと存じます。 ご意見、ご感想をここに採録して、亡 この会の司会は大東和徳雄があた 多数の皆様からお寄せくださった

#### 司会者

境や、また慰霊塔建立についてのご 西さん、山下さんたちは遺族の一員 感想をお聞かせください。 余年の歳月が過ぎ去った今日のご心 として、あの時のことや、戦後二十 中野さん、奥津さん、宗森さん、 小

#### 中野万代

従事していました。 として、台湾の高雄に、長男は予科 徒としてそれぞれ与えられた作業に 練で霞ヶ浦におり、次男と長女は学 当時は正に国家総動員で私は軍人

当時の凄惨さが思われて胸迫る思い 出動し、原爆のためなくなりました。 原と化しているのに驚き、原爆投下 久しぶりに見る広島が荒漠たる焼野 して初めてそのことを知りました。 は水主町県庁附近の家屋疎開作業に 私は翌昭和二十一年一月二日復員 復員船で大竹に入港解除せられ 次男進は県工生徒として八月六日

遂げささずに済んだものをと、ぐちを が、休ませておけばあの悲惨な最期を 家内の語りますには、 何となくだるそうな様子であった 進はあの 日

> はわからないでもありません。 繰り返していました。私もその気持ち

とを思って、子供たちに感謝するば かりであります。 道あけとなった尊い犠牲であるこ しかしその原爆死こそは、平

#### 奥津トシ

な心地さえいたします。 たちの安息所であり、その中から当 た親にとっては、あの慰霊塔は子供 時のあの姿で立ちあられてくるよう 存じます。お互、 実現したことは、 り、日頃念願していた慰霊塔建立 このたび、皆様方のお骨折りによ まことに有難いと 可愛い子供を失っ

ぱいでございます。 とばを聞かせて欲しい気持ちでいっ 声が聞えるものなら何か答えのこ

ず、冥助によって永遠の世界平和 打ち立てられることを祈ってやみま わせて、み霊を慰める行事を怠ら い、ご遺族の方々と共々に、 この上は慰霊塔建設の趣旨に 心を合

#### 宗森孝道

て何とも言わず、それこそ苦虫を噛 持って帰りました。それは敵機が撒 気が狂いそうです。 いたもので、「日本よ早く降伏しろ」 日、どこで拾ったか、一枚のビラを を私共の目の前でづたつたに破っ 意味が書いてありました。娘はそ あの時の事を思い出すと、 娘が被爆の前 今でも

のうちに息を引きとりました。 出陣の歌を口づさみながら夢うつつ 聞き取れないような声で、動員学徒 く、又一しずく。それから間もなく きない目から玉のような涙を一しず はどんぶくれにはれて開くこともで 心せよ。」と言ったら、その時、 ではないぞ。 たとえ死んでも、 お苦しいか、今に楽になるからね。 けどとなった娘を看護しながら「お と信じます。そしてあの日全身丸焼 娘は死を覚悟していたのではないか つっ立っていました。あの時、 つぶしたような顔をして、 あとは引き受けた。安 お前は決して犬死 、すでに じっと 娘

でも「娘よ、今は広島も立派に復興し、お前たち犠牲者に対する慰恵興し、お前たちでいっぱいでありを求めて進みつつあるのだ。」と慰めを求めて進みつつあるのだ。」と慰めを求めて進みつつあるのだ。」と慰めてやりたい気持ちでいる。

#### 小西忠義

私はときどきふと目を覚まし、窓 がと、ふと錯覚に落ち入り、わが子 かと、ふと錯覚に落ち入り、わが子 の名を叫びつづけ「この母の歎きも いとしき吾が子を」ある市女のお母 さんが最初に出来たお地蔵さんが安 さんが最初に出来たお地蔵さんが安 さんが最初に出来たお地蔵さんが安 さんが最初に出来たお地蔵さんが安 さんが最初に出来たお地蔵さんが安

> て安らぎを覚えます。 国難に殉じた三百十万余の英霊の 国民のま心をこめ厳粛に行なわれて いることを思えば、遺族の一人とし で安らぎを覚えます。

とした気持ちです。
れることになり、よかったと、ホッからは更に身近に愛児の冥福を祈ら徒の慰霊塔が完成したことで、これ

#### 山下昇

てなりません。「水をください」と虫のいきで呼びか「水をください」と虫のいきで呼びか地附近で多数の学徒が死の寸前に地の近で多数の学徒が死の寸前にあの八月六日の午後二時頃、爆心

一四、五歳の花ならば、つぼみの 年齢で無慚な死を遂げたことは何と 霊のために、まことにふさわしい企 霊のために、まことにふさわしい企 で、一万有余の犠牲の学徒の方々

#### 司会者

んお願いします。 お母さんの立場でご感想を瀬戸さ

#### 瀬戸マサノ

絶ってしまいました。子爆弾のために一四歳の幼い命をまいりましたが、あのいまわしい原なしい子供としてすくすくと育ってを見い子供としてすくすくと育って長男孝昭は思いやりのある、おと

過ごしております。 ではないと言いきかせながら毎日を私だけがこんな不幸な目に逢ったのら……と思いだして見る事ですが、

母としては、あの子の死体も確認のが心の奥に残っていて消えません。あんな悲しい目に逢うのは私ためが心の奥に残っていて消えません。天国で孝昭もそれを待ち望んであが、とこでどのように亡くなったのか、とことと思います。

ています。

日が近づくと感慨胸に迫って当日は

一日中家に閉じこもっている事にし

#### 司会者

ますが何かひとつ。
「一人でもあり被災障害者でもありの一人でもありを災障害者でもあり。」

#### 丸亮

私は引率者として高等科一・二年のであります。

が、その技術の習得には皆真剣その鉄の中空有底円筒を鋳造するのですました。径五センチ、高さ八センチの敵の本土上陸に備えてのものでありあこで鋳造する手榴弾は、やがて

時る事ができましたが、毎年八月六 い上できるようになりました。そし であの八月六日の原爆の惨事にあっ たのであります。私は前上半身に火 たのであります。私は前上半身に火 たのでありました。初めはペケも多

私は、昭和二十五年四月に己斐小学校から袋町小学校に、更に白島、南観音小学校に転任し、昭和四十一年三月に退職しましたが、その間手指の機能不全、内臓疾患等の身体的、精神的苦難に耐えて今日まで不思議に命をながらえているのであり思議に命をながらえているのであります。

関と胸の痛みを覚えます。 中と巻ゲートル姿で国難に挺身した ります。殊にその当日、犠牲者となっ ち奥崎君と山口君のことを思えば一 た奥崎君と山口君のことを思えば一 が、強性者となっ が、関係を追想すれば感無量であ が、関係を追想すれば感無量であ

きたい事を切望しております。の会の御世話をしてみて、ご遺族のの会の御世話をしてみて、ご遺族のの会の御世話をしてみて、ご遺族のの会の御世話をしてみて、ご遺族のの会の御世話をしてみて、ご遺族のの会の御世話をしております。

#### コインファ

正本さんあなた方は建物疎開作業従森下さん、柿原さん、田中さん、

持ちは如何ですが 方々でありますが死線を越えたお気 ^者の内では九死に一生を得られた

私たちは 中学三年 生 の 時 被爆 でしま

動

員先の工場から再動

到員され

建 物

めき通しました も屍体焼却の火煙の絶えない中でう りついた郊外の道ばたで、 海の中を逃げまわりました。夜たど む傷を汚水で冷やしながら更に火の り、ふくれあがり、 炉へ投げこまれたような感じととも 疎開作業に従事中、一瞬巨大な鎔鉱 つきて倒れましたが来る日も来る日 皮膚がずるっとむけて垂れさが 焼けるように痛 ついに力

なったものの教壇に立ってケロイド みると就職難時代。どうにか教員に で結核に倒れ ちは精神的なよりどころをなくし、 した。それに勝利を信じていた私た ことがまったくやりきれない思いで 者ばかりで、生き残っているという をしたり、苦しい境涯をしいられる くへ引き取られていったり、 りか多くの師、 しくりかえし思いました。そればか みにくくなった悩みなどで、 え落ちていなかったらと、 こた悲しみとケロイドを負って顔の 戦後は生活に恵まれず、 頽廃模索……そんな生活の中 友も孤児になって遠 やっと起き上がって くりかえ 母を亡く 原爆さ 闇商売

> を見 おれませんでした。 つめる生徒の目を意識 せずに

年はたまたま海外をめぐりあちらのや詩に詠みなどしていましたが、先いという気持ちは当初からあり、歌は、それを何とか訴えずにはおれな せめてでした。 人々に訴える機会を与えられたの でしたが、あれほどの悲惨事を体験 との発言があって胸を衝かれたこと んだ者が一ばん苦しんでいるなあ 人たちの集まりで「何と言っても死 友の苦しみを見聞きしたからに 原爆症で死んだ下級生の は

であると信じております。 ささやかな力をしぼっています。 どうにか私なりに戦争防止のため たたび同じ事態を引き起こす危険 惨さを伝えたり、今の世界情勢は、ふ い若い方たちにはどうしてもその あることを語ってきかせたりして、 それが私たち生き残った者の使命 また最近は特に原爆戦争を知らな 悲



野 伝 内 0

この伝承講話を通じての人権研修で ある長 教頭先生2名を含む教職員70名で、 の概要を紹介させていただきます。 験伝承講話で派遣されましたが、そ した。前回は教師や生徒のいじめ問 今回の聴講者は高校の校長先生 私 は、 野県上田 昨 年 12 市の高校へ、 月 上 旬 に、 無

被爆体

言

館

 $\mathcal{O}$ 

司

て8月 幅110メートルの深い川を一緒に 旨は、「15歳の女学生が、学徒動員中 や動員学徒慰霊塔の建立に取り組ま ガンを克服して、被爆体験証 泳いで逃げた経緯。その後、4つの 我を負いながら、教師の助けを得て 距離で被爆し、左目を失明する大怪 に爆心地から540メートルの至近 の伝承講話です。お話した内容の主 れた被爆体験証言者の寺前妙子さん の建立にも建立委員として取り組ま んでおられること。 近辺の清 れたこと。 私の伝承講話は、動員学徒慰霊塔 年に2回の機関誌の発行、 6日の慰霊祭の実施に取り組 掃と献花、慰霊のため 今でも月に2回の慰霊塔 また、 恩人の先 言活動 そし の読

.ること。」です。

列席で熱心にメモを取りながら、 講話の時間が持てました。 ている様子が見受けられ、 聴講者の校長先生、 後席の先生方も真剣に聴講され 教頭先生 充実し は ま

る教師としての行動指針の一端を示関係が築ける心配り、気配りの出来の方法など、生徒との深い絆の信頼た。教師の一人として叱り方、指導 だきました。」と、研修担当男性教師 していただいた良い講話でした。 感想を述べられました。 なりますので、上田市や松本市の友 ております。 れました。また、他の教師の方は、 が声を詰まらせながら感想を述べら 権研修にふさわしい講話をしていた しい師弟愛の伝承講話に感動しまし 講話を通じて、教師と生徒の素 人教師にも紹介します。」と、嬉 - 県内の他の高校でも人権研修をし 講話終了後には、「寺前さん 本講話はとても参考に 0 飛ら L 伝 人

題を研修されたそうです。

たが、疲れも忘れる非常に充実した 交通の不便な学校での伝承講話でし で、片道7時間余りの道のりも遠く、 伝承講話の時間を持つことができま で前向きなご感想をいただいたお蔭 こういった先生方からの熱心真摯

1 次のとおりです。 本日の研修はとても良 日 の質問 や意 の主 なも 講 0) は

生の供養会とお墓参りも継続されて



く普通の教科担当教師の立場です りますか? 来ません。 明日からは平和学習はあま 私はクラス担 何かアドバイスは 任等では

3 要な事、 成感や原動力は何でしょうか? 承者育成が是非とも必要だと思 のような伝承者のまたその次の伝 た。近い将来に向けては、辻さん れているようですが、その活動の 被爆体験証言者の伝承活動 本全国、外国にも伝承講話に行か なぜ、伝承者になったのですか 効果なども理解出来まし の必 達

は次のように回答しました。 これらの質問や意見に対して、 私

次のお願いをします。みなさん先生

方各自が校長会や教頭会の会合など

機関誌 が、より一 伝承しなくてはいけないという決意 花や近辺の清 い。途絶えさせてはいけない!〟と 験のお話を継続させなくてはいけな をしてきましたが、『貴重 から沢山の被爆体験証言講話の聴講 となったきっかけですが、 強い気持ちから伝承者になろう ①②の質問に対しては、 2012年に応募しました。ま 「ともしび」の発行などを通 さんの足跡をしっかりと 動員学徒慰霊塔への献 強固 掃、慰霊のための読 なものとなって 私は以 な被爆体 伝 承 前

活動運動は、

あまり時間を費やすこ

す。」と説明しました。

取り組める活動だと思

いま

ての活動につながります。

また、核

兵器禁止条約の批准へ向けての署名

核兵器廃絶、恒久平和の実現に向け

聴講の機会などを、ご紹介いただき どへ、本日の被爆伝承講話の内容 において、友人や知人の教員の方な

たいと思います。こういった活動は

それから、 私 は講話を終えて、

> 頭先生、教員の方が聴講者ですので を感じます。本日は、校長先生、教 このようなときに伝承講話の達成感 ます。そして、、家に帰ったらお話 ひ、今日から、その第一歩を踏み出 立派な平和継承活動になります。 いただくことは、みなさんが出来るやお母さん、家族の方にお話をして ち、一つでも、 爆 がお話をした恐ろしい原 しながら笑顔で応答してくれます。 と、直ぐに全員が元気の良い挙手を をしてくれますか?』とお聞きする してください。』 とお願いしており 放射線被害のことなどの 児童や生 家に帰ってお父さん 一徒さん 爆の 7つ、″私 ぜ

に反対する理由はありません。」との このとき、校長先生から、 をしてみます。 へ向けての署名活動も生徒たちに 頭会でも紹介します。 核兵器廃絶の署名 核兵器廃 「校長会

> 思っています。 とお返事をしました。 関心を持っていただき嬉しいです。」 組んでいる伝承講話も、引き継いで 同感です。私が達成感を持って取り ビ局の取材を受けた時に、 お話をしてくれる伝承者が必要だと を受けました。ご提案の意見に全く インタヴュアーからも全く同じ質問 ③のご意見に対しては、 お返事を 伝承講話活動に高い ただきました。 「地元テレ テレビ局

山あり、この事でも感動で充実したこれらのほかにも熱心な質問が沢 介します。 のメールをいただきましたのでご紹 の先生から、 伝承講話の時間を持てました。 後日、 今回の人権研修の担当教 次のような嬉しい感想 師

くの種 さかる鶴見橋を歩いて渡ることが 学友と共に火の海の中を逃げ、 体験とその後の人生について伝えて ださった後に、寺前妙子さんの被爆 染色体への作用等、丁寧にお話しく の先生が探しに来てくださり、 で電話交換手として働く最中に被爆 いただきました。なかでも学徒動員 原爆の被害やその範囲、 校職員一 な声でお話をしてくださり、 し、左目や顔面を負傷した直後、 辻先生は、丁寧に みんなで泳いで京橋川 同 放射線の健康への影響や 聞き入っていました。 ゆっくりと 放射線被ば わが高 他 燃え 担 明 0) 任 膫

> り、 8月30日に亡くなっていたことが33は、被爆後1ヶ月もしない昭和20年 り、消息がつかめなかったその先生神さまのように崇めるようになった 非常に感銘を受け、 続けていて近年70回忌の法要を行 まれて幸せが訪れ、その後は先生を 苦しみ、先生が の引き締まる思いでした。 る話などを丁寧に話していただき、 たことなど、私たちに身につまされ 年後にようやく判り、その後法要を 恨んだり、その後、 延びたこと。 助 けてくれたことを 顔 教職員として身 結婚し子供に恵 面 の 負

す署名用 問が決定しております。 た。 活動運動』も、 前さんの被爆体験伝承講話」での訪 高校の友人教師に紹介をしていただ 兵器禁止条約の批准へ向けての署名 に長野県上田市内の他の高校へ、「寺 き、今年11月11日 人権研修の担当教師の先生が、 また、今回の伝承講話後に先 紙を返信していただきま 後日、 (水)・12日 (木) 100名を超 そして、『核 他 述 0

に向けての小さな活からの核兵器廃絶、 歩 ました『私達の被爆体験伝承講話 これらのことは、 実に歩んでいることを実感でき 小さな活動。が、一歩 講 恒久平和の 話 でお 願 実現 1)

出

いると思いました。

2

・階は観光案内所、

特産品売り

## リニューアル後の

辻 靖 司

想を述べてみます。 のレストハウス内覧会に出席した感 先日、 被爆建物のリニューアル後

風に理解の出来やすい展示になって る貴重な空間だったと思います。 を閉じ込めているような感覚さえす がら…臨場感があり、 何とも表現の難しい恐怖 リニューアル後の地下室は、 以前は、地下室に入った瞬間 かつての空気 感を感じな 現代

れました。 情報収集をしておられる職員もおら リニューアル後の感想や改善点など 内覧会では、レストハウス職員は、

1 が、 ました。 に、レストハウス職員へ依頼をし いた時の金庫の位置が分かるよう ただ一人の生き残りの野村さん 地下室の金庫の書類を探して

うに、中央部が大きな空間(床の)もう一つ、地下の床が見えるよ ない構造)にしてありましたが、 見学者が沢山中央部に集まり見学 夫の依頼をしました。 来るように、 空間部を隅にする

> もみじ饅頭、折り鶴のお土産品、 場ですが、以前よりは売り場も広く、 ておりました。 条のおみやげ、 熊野筆なども販売し 西

⇒もっとも、爆心地から170 など、工夫をして説明をする必要 1) トル毎秒以上と説明して良いと思 ~4000度。 400メートルの火球では、 メートルのレストハウスは、 があると思いました。 す。爆風の方向、概略の熱線温度 が説明できるようになっておりま ・「爆風による火災で焼けた天井. んど爆心地直下で熱線は3000 、ました。 爆風も280メー ほと 直径

島地区のパノラマモデル(200分 アイスコーヒーもおいしかったです。 図の景観を見学出来ると思いました。 爆ドーム、その他の慰霊碑は違った構 広々とした場所でこの場所からの原 0) (1) が展示されていました。 明をする必要があると思いました。 の方向、損傷状況をよく理解して説 出来るようになっております。爆風 ・「爆風による損傷した梁」 3階は、 2階は休憩、喫茶ホールでした。 以前の東館へ展示の中 が説明

場所だと思いました。 念公園のことなど説明の出来る ⇒この場所でも、被爆前の平和記

屋根の一部」が説明出来るように ・もう一つ、「爆風により崩落

損

り、40~50分のご案内など、見学者 たいと思いました。 たが、今後はご案内の場所も沢山あ の要望をよく聞きながら、ご案内し 傷状況をよく理解して説明をする 必要があると思いました。 なっております。 が前は、 地下室のみのご案内でし 爆風の方向、



ご寄付お礼

ざいました。 ました。ご厚志、 の皆様から貴重なご寄付をいただき 令和2年7月から10月までに、 誠にありがとうご 次

向奥志 原井田水 キ 宏 日 清 美 コ 子 様様様様

> 中松丸奥石平横榎仲斉西 藤村 村尾谷野田野田嵜 浩律照貴英み靖昭庫子子子子雄子子夫生 ヨ 光 リ 子 様 様 様 様 様 様 様 様 様

ご寄付いただく際には、 へお振り込みください。 左記の口 座

一般財団法人 広島県動員学徒等犠牲者の会振替口座(01300-6-8858ゆうちょ 銀行









٤, で、 分や家族が、新型コロナだけでなくの3つの基本行動を徹底すれば、自 保」「2マスクの着用」「3手洗 やワクチンが確立されるまでの間新型コロナ対策としては、治療薬 インフルエンザや風邪にかからない きるだけ避けて、「1身体的距離の確 ていくしかありません。「3密」をで は、一人ひとりが感染防止に注意し 私は前向きに考えるようにしま 清潔で健康な生活が送れるんだ

(本地正: 治